

平成 23 年度第 1 回 倫理審査委員会

平成 23 年 9 月 12 日

受付番号 2 3 - 1

申請者	看護師	鈴木 馨
課題名	重症心身障害児（者）の皮膚の乾燥予防の効果 白ゴマ油とセキユーラ保湿ローションとの比較検討	
研究の概要	当病棟 40 名の患者の多くは、湿疹や発赤、肌荒れ等のスキントラブルがある。中でも乾燥肌が多い。そこで、皮膚の油分が洗い流され失われてしまう入浴時に着目し、入浴直後に保湿ケアを行うことで、角質内の水分の保持や乾燥の予防が改善できるのではないかと考え、入浴後に 2 種類の保湿剤使用による皮膚乾燥予防の効果を検証したい。	
判定	保留	

受付番号 2 3 - 2

申請者	看護師	大橋 尚子
課題名	重症心身障害児（者）の下肢浮腫改善への取り組み - 効果的なケアの検証 -	
研究の概要	重症心身障害者の下肢浮腫に対し、マッサージ・ホットパックによる温熱療法、足首の屈曲運動、下肢拳上の工夫により浮腫改善の効果を明らかにする。	
判定	保留	

受付番号 2 3 - 3

申請者	看護師	森岡 恵子
課題名	結核患者の陰圧室環境に対するストレス状態の調査	
研究の概要	陰圧室に隔離されている患者の多くから聞かれる声には、排菌が（ - ）にならないと検査に行く時も看護師に付き添われ病棟から自由に外に出られないことから刑務所みたいで自由がない、面会者も制限される、他者に病気を知られたくない、結核と分かると偏見の目で見られる等があり、それらがストレス要因になっていると考えられる。そこで、陰圧室での隔離入院中の患者に、聞き取り調査を行い、患者自身が抱えているストレスを知ること、患者への今後のアプローチに役立てていく。	
判定	承認	

受付番号 23 - 4

申請者	看護師	加藤 七実
課題名	人工股関節置換術の脱臼予防に対するDVDを用いた指導効果 ～回復時期に合わせた指導を試みて～	
研究の概要	患者がベッドサイドでの脱臼予防のDVDを視聴することで、脱臼予防についての理解を深め、日常生活動作のイメージ化が図れ、実践に結びつきやすくなっている。しかし、以前の理解度の聞き取り調査では、正解率が低く変化が見られなかった項目もあるため、再度、患者の理解度を調査し効果的な視聴時期の検討を行い退院指導につなげる。	
判定	保留	

受付番号 23 - 5

申請者	看護師	三浦 麻紀
課題名	緑茶カテキンによる手部の消毒効果を試みて	
研究の概要	現在、手指の拘縮変形により皮膚の接触が生じ通気が悪いことから悪臭が漂っている。拘縮手のある患者はタオルを握っており、接触は防げていても臭気は取れていない。先行研究結果では、手浴、足浴において緑茶カテキンは殺菌・抗菌作用があると立証され、また消臭効果があるのではといわれている。今後、緑茶カテキン効果を日々の看護ケアに取り入れ、異臭の軽減を図りたい。	
判定	承認	

平成 23 年度第 2 回 倫理審査委員会

平成 23 年 10 月 17 日

受付番号 23 - 1 (再)

申請者	看護師	鈴木 馨
課題名	重症心身障害児(者)の皮膚の乾燥予防の効果 白ゴマ油とセキューラ保湿ローションとの比較検討	
研究の概要	当病棟 40 名の患者の多くは、湿疹や発赤、肌荒れ等のスキントラブルがある。中でも乾燥肌が多い。そこで、皮膚の油分が洗い流され失われてしまう入浴時に着目し、入浴直後に保湿ケアを行うことで、角質内の水分の保持や乾燥の予防が改善できるのではないかと考え、入浴後に 2 種類の保湿剤使用による皮膚乾燥予防の効果を検証したい。	
判定	承認	

受付番号 23 - 2 (再)

申請者	看護師	大橋 尚子
課題名	重症心身障害児(者)の下肢浮腫改善への取り組み - 効果的なケアの検証 -	
研究の概要	重症心身障害者の下肢浮腫に対し、マッサージ・ホットパックによる温熱療法、足首の屈曲運動、下肢拳上の工夫により浮腫改善の効果を明らかにする。	
判定	承認	

受付番号 23 - 4 (再)

申請者	看護師	加藤 七実
課題名	人工股関節置換術の脱臼予防に対する DVD を用いた指導効果 ～ 回復時期に合わせた指導を試みて～	
研究の概要	患者がベッドサイドでの脱臼予防の DVD を視聴することで、脱臼予防についての理解を深め、日常生活動作のイメージ化が図れ、実践に結びつきやすくなっている。しかし、以前の理解度の聞き取り調査では、正解率が低く変化が見られなかった項目もあるため、再度、患者の理解度を調査し効果的な視聴時期の検討を行い退院指導につなげる。	
判定	承認	

平成 23 年度第 3 回 倫理審査委員会

平成 23 年 12 月 19 日

受付番号 2 3 - 6

申請者	医療安全管理係長	小林 誠子
課題名	内服与薬に関するヒヤリ・ハット発生の看護師要因と介入モデルの構築 ~ イベントレビューに展開した事例を行動モニターモデルで分析して ~	
研究の概要	9 施設で発生した内服薬与薬に関するヒヤリ・ハット事例をイベントレビューおよび行動モニターモデルで分析し、行動モニターモデルのどの段階でエラーが発生しているかを明らかにする。その上で段階別にエラーに対する介入モデルを構築し、内服薬与薬に関するヒヤリ・ハット事例の減少につなげる。	
判定	承認	

受付番号 2 3 - 7

申請者	診療部長	増田 典弘
課題名	EGFR 陽性・KRAS 野生型の進行・再発大腸癌症例に対する一次治療 FOLFIRI+Cetuximab (q2w) 併用療法および二次治療 mFOLFOX6/Bevacizumab 併用療法の検討	
研究の概要	EGFR 陽性・KRAS 野生型の進行・再発大腸癌症例に対して、一次治療 FOLFIRI+Cetuximab (q2w) 併用療法および二次治療 mFOLFOX6/Bevacizumab 併用療法の治療効果および安全性を評価する。	
判定	承認	

受付番号 2 3 - 8

申請者	診療部長	増田 典弘
課題名	HER2 陽性 切除不能・再発胃癌に対する S-1+CDDP+Trastuzumab 併用療法の第 Ⅲ 相臨床試験 ( HER2 陽性胃癌に対するティーエスワン・シスプラチン・ハーセプチン併用化学療法に関する臨床試験 )	
研究の概要	HER2 陽性の進行・再発胃癌の初回治療例を対象として、S-1+CDDP+Trastuzumab を併用した場合の有効性及び安全性を評価する。	
判定	承認	